

2026年度 水稻防除暦

(株) 山東農園 [フリーダイヤル] 0120-09-9393 [FAX] 073-478-2655

時期	対象病害虫	薬剤名	倍数	使用基準	備考
種子消毒	もみ枯細菌病・馬鹿苗病	スピルタックスターSE	200倍	浸種前/1回	24時間浸漬 乾燥粒種 1キロあたり処理薬量2L
	ごま葉枯病・いもち病				※薬液浸漬後効果安定のために必ず風乾する。
	イネシンガレセンチュウ	スマチオン乳剤	1000倍	は種前/1回	
播種直後	苗立枯病	ダコレート水和剤	400倍	は種時から綠化期/2回	1箱あたり希釀液0.5Lを土壤灌注
代かき	除草	兆(キザシ)フロアブル	500ml/10a	植代時～移植7日前又は移植直後	
田植当日	紋枯病・いもち病 ニカメイチュウ・コブノメイガ ヨコバイ・イネゾウムシ・ウンカ類	スタウトアレスモンガレス箱粒剤	1箱50g	は種時(覆土前)～移植当日/1回	水稻苗箱薬剤 ○スタウトアレス箱粒剤(紋枯なし)
本田期	田植後 ○代かき時除草あり →田植後2-3週間目	除草	粒剤 ホクト粒剤	3kg/10a 移植後5日～ノビエ3葉期 ただし、移植後30日まで	○田植同時除草処理には、忍粒剤1キロ ー中後期除草剤ー
	○代かき時除草なし →田植後1週間目		液剤 ゼータプラス	500ml/10a 移植後3日～ノビエ4葉期 ただし、移植後30日まで	○クリンチャーEW(ノビエ・キュウスメノヒ)
	発生時		ゼータプラスジャンボ	200g/10a 移植後、ただし収穫60日前/2回	○クリンチャーバスME(ノビエ・広葉) ○バサグラン粒剤(広葉) ○ゲパード粒剤・ジャンボ(ノビエ・広葉)
	田植1ヶ月後～ 出穂前5日前	いもち病・内穎褐変病 紋枯病 ツマグロヨコバイ・ウンカ類 コブノメイガ・イコ類	ブラシンフロアブル モンカットフロアブル トレボンEW・乳剤	7日/2回 14日/3回 14日/3回	○ニカメイチュウなどハマキムシ類の発生が多い場合は、パダン水1500倍を加用する。
出穂後10日～	いもち病 紋枯病 カメムシ類・ウンカ類	ブラシンフロアブル バリダシン液剤 ダントツ水溶剤	1000倍 1000倍 4000倍	7日/2回 14日/5回 7日/3回	○秋ウンカにはアプロード水1000倍を加用し、株元までしっかり散布する。 ○秋ウンカ多発園では、エミリアF1000倍(収穫7日前/2回)が良い。